

2022（令和4年）支部総会同期会

日時・場所：2022年10月22日（土）14：00～17：00 門仲「はなぶさ」

出席者：守永・吉川・小西・時田・近藤・野田・細川・村川・増田・・・9名

（順不同敬称略 以降文中敬称略）

旭陵同窓会東京支部総会はコロナの関係で20年は中止、21年はWEB総会（42期参加者は吉川増田のみでサミシカッタヨ）、今年22年はメイン会場・有志のサテライト会場・自宅からの参加をオンライン（Zoom）でつなぐ「ハイブリット同窓会」なる、我々後期高齢者には縁のないようなやり方となる。

ところがどっこい我がメンバーには小西というその道の第一人者がいる。小西がホームグラウンド「はなぶさ」に機材を持ち込みセットし、「はなぶさ」をサテライト会場化する、そこをメイン会場とオンラインでつなぎ同期会を行う、メイン会場には吉川が代表で参加、我々は「はなぶさ」に集合、吉川は適当なところで抜け出し我々に合流する事とする。

やる場所・方法は決まったが幹事が決まっていない（前回決める予定が失念し決めなかった）、色々あったが前回幹事の近藤がとりあえず今回も幹事役をやることとし6チャンで全員に案内を発信する。するとどうだ出席者名を見てほしい、なんと広島の細川から出席の返事が来る、出張で東京に来るが帰るのを1日延ばし、同期会に参加し最終便で広島に帰るというではないか、嬉しいね「朋あり遠方より来たるまた楽しからずや」感謝！感謝！



今回も差し入れいろいろ頂きました（左写真）守永より乾杯用のシャンパン（厳密にいうとシャンパンではなくスパークリングワインだが）赤白各1本、その横の清酒4合瓶、これは誰だかわからない、その横の紙袋は時田よりの湘南タコ煎餅、手前は純平からの下関&博多ゆかりのおつまみ類数種。

ここにはないがG14田中亨よりの鹿肉猪肉（後半の調理した写真を見て）

純平は下関の「ふぐ刺し」10人前を忘れたようだ、だがいずれも感謝！感謝！

定刻前に行くとなすでに小西が、スクリーン、プロジェクター、PCを接続し隣からWi-Fi用ケーブルを引っ張って準備完了。

こういう会には必ず遅れる守永、メイン会場に参加している吉川の2名は居ないが先ずはシャンパン白で乾杯、乾杯が済むと後は例によって人の話は聞かない、言いたいことだけ言う、西高スタイルの宴会が始まる。

スクリーンにはメイン会場の様子が映し出されるが誰も見てない、今の校長とか幹事とかが挨拶しているがお構いなし、我々同志の話の方が重要、そういえば外務大臣の林芳正がキーボードを弾いて歌っていた、校歌もあった、PCは鮮明な画面だがスクリーンに映すと室内が明るいのでよく映らない（下2枚）これを写したカメラの性能も良くないが。



メイン会場から吉川合流し、遅れていた守永も来たので改めてシャンパン赤で2回目の乾杯、あとはいつもの西高スタイルの宴。G14 田中提供のジビエ（左鹿肉・右猪肉）美味しいよ



細川・村川・野田

近藤・時田・小西



増田・吉川・守永

全員（オヒラキ前）



前ページから出席者の写真、全員写真はオヒラキ前（17：00 ごろ）なので最終便羽田に向かった細川は写っていない。

メの蕎麦を食べオヒラキとなったが、懸案事項の幹事決めが始まるが、それぞれ言い分があるが一切合切をご破算にして、過去より未来を目指そうなんて青年の主張みたいな事を言い出し、誰も幹事役はやりたくないで個人名が上がると全員が賛成と言うのを見越し、いきなり吉川が、仕事でそういう事をやっていた増田がいいと言い出し、ママまで増田さんがいいと言い出し、みんな待ってましたとばかりに賛成の声をそろえる。いつもは自己主張の強い連中がこんな時は団結。

吉川の計略にやられました、野田の話を聞くと「イヤ」と言えない、みんなが敬遠する幹事役をやむを得ず、ここにいるメンバーは「世話役として次回からの同期会には MUST で参加これは DUTY」「参加者増に積極的に協力する」の条件付きで引き受ける。

寅さんの気持ちがよくわかる。

頼まれればイヤと言えないのが渡世人の辛れ〜ところよ（フーテンの寅語録より）

宴中の会話はよく覚えてないが楽しい会で会ったことは間違いない。

田中が仕留めたジビエを食い、マスターの美味しい料理を味わい、美味しい酒を飲み、楽しい会話を弾ませ、居心地のよい空間で、いい時間でした。

我々後期高齢者、いつ何があってもおかしくありません、会える時に会ってきましょう。

次回も元気に集まりましょう。

*次回はコロナの状況にもよりますが桜の頃ですかねえ

(10/22 仙人記)